

事業所名

ありすく〜る/ありすく〜るジュニア

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

7 年 2 月 28 日

法人(事業所)理念		支援者一同で全力を持って、利用者様の明るい未来をつくる。		
支援方針		感動的な成功体験を繰り返し経験し、未来が明るくなる程の自己肯定感を高める。		
営業時間		営業時間：9：00～18：00 日曜日休み サービス提供時間：平日14：00～18：00 土・祝日・長期休暇9：00～17：00	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣を身につける：食事の前の手洗い、食事の挨拶、正しいお箸の持ち方、食事の際の正しい姿勢等を身につけられるよう支援する。 整理整頓：自分の持ち物をロッカーにしまい、忘れ物がないように整理整頓ができるよう支援する。 生活リズムを身につける：スケジュール表を作成し、時間を意識しながら行動することで、生活リズムを身につけられるよう支援する。		
	運動・感覚	平衡感覚・良姿勢の向上：吊り遊具やトランポリン、ブランコ等の活動を通して感覚統合のコントロールを見つけての支援をする。 外遊び：ありすく〜るでの活動(木のブランコ、土ねんど掘り、切り株のアスレチック、木登り、ターザンロープ、自転車に乗れるように練習する、ボール遊び、鬼ごっこ、森の中を散策探検、野菜を育て収穫する、竹の子掘り、竹シード、など)を通して、危険なことや痛みを感じることを自然の中で覚え、他児童と協力すること、思いやりをもつことができるよう支援する。また、成功体験を増やし、結果だけでなく、取り組んだ過程も振り返り、できたことを認めていく声掛けをしていく。		
	認知・行動	工作：季節を感じられる作品作りや、指先に絵具やのりをつけての制作、スライム、色水、小麦ねんど作りなど、様々な感覚・感触を感じられる活動をする。 学習：読み・書きなど自己学習に取り組むことができるよう、個々の学習能力に合わせた声掛けや支援をする。		
	言語コミュニケーション	様々な年齢の児童との関わり：様々な年代の児童とのグループ活動を通して交流が図れるよう支援する。 児童に合わせたコミュニケーション：指差しや身振りを交えた意思疎通の支援をする。 その他：児童の興味のあること、何気ない会話や日常会話を積極的に行い、児童と関わりを持つようにする。		
	人間関係社会性	興味を持てる遊びを通して、参加する手段やルールを習得し、集団活動に参加できるように支援する。 職員と児童の信頼関係を築けるような関わりをする。 外出先での職員以外の人たちとの関わり方やその場所のルールが学べるよう支援する。 日々、高齢者のデイサービスや亞利の整骨院の患者様達と関わりを持つことで、挨拶や礼儀などを身につける支援をする。		
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 延長支援	移行支援	保育園・幼稚園や関係機関との連携
地域支援・地域連携		デイサービスセンターありでいずでの高齢者との交流 地域の公民館での行事への参加	職員の質の向上	一人一人の児童に対するカンファレンスの実施 社内・社外研修 委員会による安全管理・感染・身体拘束等の共有
主な行事等		イベント・・・節分、夏祭り、プール遊び、水遊び、秋祭り、カレー作り、焼き芋、マシュマロ焼き、クリスマス会		